

香川県広域水道企業団水道事業地区別意見交換会
令和3年度会議議事録（小豆ブロック統括センター）

会議日時

令和3年12月23日（木）午後1時30分から

場所

池田保健センター2階会議室

出席人数

11人（委員7人 事務局4人）

議題

2（2）. 水道経営・水道料金について

【意見】

資料5ページ香川県広報誌（平成26年12月号）に関する質疑

- ①土庄町の料金がH35に突出して高くなっているのはなぜか。
- ②広域化すれば、同じ料金になるのではないか。

【回答】

- ①肥土山浄水場の更新計画による。
- ②広域化を行っても、10年間は区分経理を行う。財政2指標（給水収益に対し内部留保資金0.5程度、企業債残高3.5以内）を達成するため、料金値上げを実施しなければならないが、令和10年度からは香川県統一料金となる。

2（3）. 老朽管について・更新計画について

【意見】

- ①肥土山浄水場については、土庄町が負担をするのか。
- ②北山浄水場は廃止するのか。

【回答】

- ①国庫補助金の活用と小豆島町の浄水場と統合もするため、小豆島町も負担する。
- ②当初は廃止の予定であったが、何年か継続して使用し、人口減少とともに有収水量が減ってくれば廃止する計画である。

2 (4). 災害時の対応について

【意見】

①電気等のインフラがストップした場合でも配水は可能なのか。

【回答】

①内海浄水場については、企業団になってから自家発電機を設置し、最低限の電源を確保できる状態である。肥土山浄水場に関しても更新をしており、今後の工事で電源を確保する計画である。

3. 意見交換・質疑応答について

【意見】

①山の上の別荘地について、管理会社が倒産したが今後どのようにしていくか。

②ダムを増改修したため、渇水に対しては大丈夫だと感じるが。

③メーターまでの給水管について、水路などを這っている露出管がある。凍らないようにとのことだが、個人で行わなければならないのか。

④家に井戸水があるが、それを料理や飲料水として利用するのに、何が必要になるのか。

【回答】

①水道には給水エリアがあり、山の上の別荘地については水道の給水エリアから外れているため、管理会社が中山から原水を購入し、ポンプで所有する池に送水し、浄化してから配水を行っていた。管理会社が倒産したため水道について相談に来たが、配管だけで4億ぐらいかかり採算が合わない。4、5軒については内海浄水場に水を買いに来ていた。打ち抜き井戸を掘ったところ飲める水が出たとのことでその後は買いに来てはいない。給水エリアを広げる予定はないのが現状である。

②結構危ない時期もあり、断水直前もある。内海ダムについて、貯水率が20%台になったことが3月末に2度ほどある。旧内海ダムであったなら、12月から断水を行わなければならない状況であった。最近の気候状況が変わってきており、降るときは降るが、降らないときは降らない。冬場から3月にかけて降らないことが多い。

③給水管については、個人の所有物となっている。漏水などもあるため、メーターまでは企業団が修繕することとし、それ以降は所有者が行うこととなっている。今後の問題として、本管も老朽化しているが、給水管も老朽化している。更新工事を

している中で、道路際のもは更新しているが、それ以降は老朽化したままである。災害が起こった時に、本管は大丈夫でも給水管が壊れることがある。

④各自飲み水は自由であるが、基本的に検査して問題ない水を飲むことが必要と考える。小豆総合事務所の環境森林課で、有料で検査出来る。